

創立 70 周年

平成 29 年 12 月 25 日

立花中だより

強く 正しく 優しく

校長 尾知山光郎

創立 70 周年の平成 29 年も大詰めに來ています。2 学期後半の取組や出来事について紹介します。

文化発表会 ～立中文化財の披露～

9 月～10 月に全校で学級合唱に取り組み、音楽性はもちろん、社会性や道徳性の涵養を図るとともに、教科としての取組に加え、部活動や生徒会活動など、展示の部・舞台の部での発表に取り組みました。本校の文化発表会の特徴は「生徒の多様な文化活動の成果を発表する」ことです。

展示の部では、美術科と技術・家庭科及び総合的な学習の時間（国際理解）の授業での作品、理科の自由研究、特別支援学級の取組、生徒会健康管理委員会の調査研究、書道部・美術部・茶華道部の各部活動での作品、PTA 会員の作品などを校内に展示し、生徒は 10/26（木）に見学し、保護者やご来賓には 10/26（木）～27（金）にご覧いただきました。

舞台の部では、10/26（木）に、1 年と 2 年の合唱コンクールを行いました。3 年は 27（金）の舞台発表会の中でコンクールを行いました。3 年 5 学級の合唱コンクールに先立ち、1 年から 5 組と 2 組が、2 年から 3 組と 5 組が学年を代表して出演しました。また、合唱に先立つ生徒会執行部によるセレモニーをはじめ、人権作文の朗読（全学年代表）、英語劇（2 年）、学級の代表が「お奨め本」を紹介する「ビブリオバトル」（3 年国語科）、「トライやる・ウィーク」の報告（2 年代表）、英語暗唱・スピーチ（3 年代表）、朗読劇（文芸部）、ダンス（有志）、バレエ（有志）、吹奏楽演奏（吹奏楽部）と、盛りだくさんの内容の発表をしました。鑑賞態度も素晴らしいと感じられました。展示と舞台の発表・鑑賞を通して、「立中の文化財」を披露できました。3 年 3 組は、後日 11/1（水）にあましんアルカイックホールで行われた「尼崎市中学校・高等学校合同音楽会」に立中を代表して出演しました。

70 年目の立中生の輝き ～様々な活動に対して表彰されました～

阪神・中学校新人器械体操【個人総合 1 位・床 1 位・跳馬 1 位・鉄棒 3 位】松岡航大（1 年）

同【個人総合 2 位・平均台 1 位】橋本雛子（1 年）

市・中学駅伝競走【区間 1 位】亀田湧泉（3 年）次本琉乃（2 年）【区間 3 位】安井凌（3 年）

市・陸上選手権【男子 800m 1 位・110mH 3 位】嘉勢悠夏（2 年）【女子走幅跳 3 位】中田優希（3 年）

市・中学校新人陸上【男子共通 400m 2 位】嘉勢悠夏【男子共通 200m 3 位】高橋凌一朗（2 年）

同【女子共通 100mH 2 位・2 年 100m 3 位】播磨和佳（2 年）

同【女子共通 200m 3 位・女子共通走幅跳 3 位】中田優希

同【男子共通 4×100mR 3 位】南口海（1 年）・榊谷佳生（2 年）・嘉勢・高橋

市・人権作文【優秀賞】和田愛宇（2 年）【入選】鍛示笑香（3 年）塚本晃弘（1 年）藤森明日花（1 年）

税の作文【尼崎納税貯蓄組合連合会会長賞】村田万里那（3 年）

住友生命・絵画【優秀賞】石橋星奈（2 年）【佳作】伊藤めい（2 年）【努力賞】吉村実優（2 年）

実用英語検定【準 2 級合格】野村梢（3 年）平尾智音（3 年）尾辻愛梨（2 年）

法務省人権擁護局長・全国人権擁護委員連合会会長から「感謝状」

本校が長年、全国中学生人権作文コンテストの実施に協力し、中学生の人権意識の高揚のために尽力したことに対し、法務省人権擁護局長と全国人権擁護委員連合会会長から感謝状が贈られました。

創立 70 周年記念人権講演会 ～奥村先輩からのメッセージ～

「イチローと田中将大との出会いを通して」と題して、本校卒業生で「イチローの恋人」と呼ばれた奥村幸治さんが創立 70 周年記念講演に来てくださいました。奥村さんは、オリックス・ブルーウェーブ時代に日本プロ野球史上最多安打記録を立てた当時のイチロー選手の打撃投手を務め、また、少年野球の指導者としてはニューヨークヤンキースで活躍中の田中将大投手を指導し、12 歳以下日本代表の監督として国際大会に臨み、日本チームを 5 年連続世界一に導いた経歴の持ち主です。NPO 法人の代表として、日本各地で講演活動をされ、野球を通して人間形成を図ることを進めておられます。

講演会は 11/24（金）午後に行い、希望された保護者の方々にもお聴きいただきました。イチロー選手や田中投手の「意識」がいかに高く、日常生活の細かな行動がどれだけ重要な意味を持つか、実際の場面を生き生きと描写しながら具体的に話してくださいました。全校生徒は 1 時間余り、奥村さんの熱のこもった講演に聴き入っていました。

創立 70 周年記念式典挙行・記念誌発行 ～次の世代につなぐために～

本校創立 70 周年記念式典が 12/2（土）に記念事業実行委員会の皆様のご尽力により開かれました。当日は、お天道様もお祝いしてくださっていると感じる絶好の日和でした。稲村和美尼崎市市長や徳田耕造教育長をはじめ、市議会議員、教育委員会教育委員及び事務局幹部、本校小林巖元校長、廣安忠敏元校長、福田美貴子元校長、栃下勝彦前校長、市内の中学校・高等学校・小学校の校長・PTA 会長、地域団体代表の方々など、100 名を超えるご来賓のご臨席を賜り、大坂智也 PTA 会長（記念式典部長）の開式の言葉に始まった 1 時間の式典を厳かに終えることができました。丸尾牧実行委員長（同窓会長）の式辞及び山口義継はぐくみ会会長のご挨拶、市長と教育長のご祝辞をいただく厳粛な雰囲気の中にも、出席した 3 年生が礼儀正しく振る舞い、司会進行（野村梢、今井柊花）、生徒代表挨拶（田中さち）、記念品受領（昌琴音）、合唱（指揮：小松原裕斗・伴奏：村田瑞希）のそれぞれの役割を果たし、誇らしい立中生の姿を示しました。吹奏楽部の国歌・校歌の伴奏も花を添えてくれました。

また、参列された全員および全校生徒に記念誌が配付されました。記念誌は、実行委員会記念誌部会での度重なる検討を経て、福井隆夫記念誌部長（元教頭）他部員の皆様のご尽力によって素晴らしい記念誌が仕上がりました。今回の編集にあたって、30 周年記念誌や 50 周年記念誌に頼ったことから、将来この 70 周年記念誌が重要な資料として使われると思われまます。

終業式メッセージ ～校長からの冬休みの宿題～

年末年始は年を越して生命の継続を祝う「数え年」など日本の伝統文化を学ぶ時季。世代を超えて引き継ぐことの重み、「失ったら返ってこない大切なもの＝いのち」の重み、命を支え合い心身をいたわり合う人間（家族）の大切さを考える。命を支える身体は日光を浴びて活動する仕組みで、深夜の活動を繰り返すことは危険と知る。三学期始業式に来ること！

今年のご支援にお礼申しあげます。三学期は 1/9（火）に始めます！